

生活・学習習慣を確立し 学力の向上を図ります

～平成25年度庄原市小・中学校一斉学力調査結果から～

教育指導課指導係 ☎0824-73-1184

四月十日(水)



●中学校

		1年	2年	3年
国語	庄原市	73.8	73.3	73.7
	全国	71.3	71.7	72.5
社会	庄原市	52.6	56.6	61.3
	全国	51.9	51.0	63.4
数学	庄原市	60.9	56.1	55.9
	全国	61.6	56.5	56.7
理科	庄原市	59.7	61.3	60.5
	全国	55.8	54.6	61.8
英語	庄原市	74.8	66.8	58.3
	全国	60.4	57.2	55.9

庄原市小・中学校
一斉学力調査結果
【全国平均正答率との比較】

平成26年1月9日～15日
全児童生徒が参加

●小学校

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	庄原市	81.7	81.4	70.1	70.5	70.6	78.6
	全国	79.7	83.7	69.0	69.1	69.1	78.7
社会	庄原市			64.7	79.7	65.8	66.2
	全国			65.6	73.5	63.8	62.6
算数	庄原市	87.2	74.0	72.8	69.6	67.9	70.0
	全国	82.5	76.2	77.4	67.6	67.2	66.9
理科	庄原市			70.2	68.3	78.2	68.6
	全国			70.1	66.9	71.6	65.3

市教育委員会は本年1月、市内小・中学校の全児童生徒を対象に一斉学力調査を行いました。
この調査は、児童生徒に「基礎・基本の力」や「活用力」が定着しているかを把握し、各学校での授業改善や学習指導の充実を図ることを目的に毎年実施しているもので、今回、小学1・2年生は国語・算数の2教科、小学3～6年生は国語・社会・算数・理科の4教科、中学1～3年生は国語・社会・

数学・理科・英語の5教科の調査を行いました。
全体的に、全国平均正答率と同程度か、または上回っていましたが、中学校では数学が全学年で全国平均正答率を下回っており、課題改善に向けた取り組みが必要です。
各学校では、児童生徒一人一人の結果を全教職員で共有し、学校全体で改善計画を立て、課題の克服に向けた授業改善に取り組んでいます。

質問紙調査を実施

近年、「確かな学力」を身に付けるには、基本的な生活習慣や学習習慣が重要であるとの認識が高まっています。そして、そのための土台となる「自己肯定感」を高めて学習意欲の向上を図り、他者とのかわりを豊かにして「社会性」を養うことが求められています。

そこで市教育委員会では、平成26年度（5月）から市内小・中学校の全児童生徒を対象に、質問紙調査を実施します。調査は「自己認識」「社会性」「学習環境」「生活・学習習慣」の4つのカテゴリについてアンケートを行います。この分析結果を各学校の生徒指導や学級経営に生かし、児童生徒の生活習慣や学習習慣の改善を図るとともに、虐待やいじめの早期発見や不登校などの未然防止に活用していきたいと考えています。

子どもたちの生活習慣や学習習慣を確立し、学力向上に向けた取り組みを進めるためには、学校だけでなく、家庭や地域の協力が欠かせません。それぞれの特性と役割を大切にしなが、引き続き連携を深めていく中で、庄原市全体で子どもたちの学力向上を図っていききたいと考えています。